

## NYマーケットレポート（2014年5月29日）

昨夜のNY外国為替市場は、序盤に発表された1-3月期の米GDP改定値が3年ぶりにマイナス成長となったことを受けて、ドル売り・円買いが優勢となり、クロス円も下落する動きとなりました。しかし、同時に発表された米失業保険申請件数や、米個人消費が予想より改善したこと、また寒波などの悪天候の影響であらかじめマイナス成長が予想されていたことから、下げ幅は限定的となり堅調な動きとなりました。その後、米10年債利回りが2013年6月19日以来の低水準に低下したことや、米中古住宅販売成約が予想を下回る結果となったことから、ドル円・クロス円は軟調な展開が続きました。ただ、午後に入ると、株価が堅調な動きとなったことや、低下していた米長期金利が上昇に転じたことから、円売りが優勢となり、円が主要通貨に対して下落する動きとなりました。

## 2014/ 5/29 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.58	101.87	101.54
EUR/JPY	138.07	138.46	137.98
GBP/JPY	169.64	170.16	169.55
AUD/JPY	94.32	94.59	93.69
EUR/USD	1.3593	1.3610	1.3586

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.60	101.47
EUR/JPY	138.34	137.98
GBP/JPY	170.00	169.57
AUD/JPY	94.57	94.28
EUR/USD	1.3624	1.3590

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14681.72	+10.77
ハンセン指数	23010.14	-69.89
上海総合	2040.60	-9.63
韓国総合指数	2012.26	-4.80
豪ASX200	5519.47	-7.71
インドSENSEX指数	24234.15	-321.94
シンガポールST指数	3300.71	+28.87

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6871.29	+20.07
仏CAC40	4530.51	-1.12
独DAX	9938.90	-0.27
ST欧州600	344.51	+0.22
西IBEX35指数	10734.80	-22.40
伊FTSE MIB指数	21511.35	-74.66
南ア 全株指数	49726.64	+36.06

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.77	101.78	101.43
EUR/JPY	138.46	138.52	138.13
GBP/JPY	170.14	170.15	169.61
AUD/JPY	94.71	94.71	94.25
NZD/JPY	86.36	86.36	85.86
EUR/USD	1.3606	1.3626	1.3595
AUD/USD	0.9306	0.9308	0.9275

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16698.74	+65.56
S&P500	1920.03	+10.25
NASDAQ	4247.95	+22.87
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14588.95	-22.01
ボルサ指数	42009.92	+49.47
ボベスパ指数	52239.34	-400.41

### 5/30 経済指標スケジュール

08:05	【英】5月GFK消費者信頼感調査
08:30	【日】4月失業率・4月有効求人倍率
08:30	【日】5月消費者物価指数
08:30	【日】4月家計調査消費支出
08:50	【日】4月鉱工業生産
13:00	【日】4月自動車生産
14:00	【日】4月建設工事受注・4月住宅着工戸数
15:00	【独】4月小売売上高指数
16:00	【スイス】5月KOF先行指数
16:00	【トルコ】貿易収支
16:30	【スウェーデン】1Q GDP
17:00	【ポーランド】1Q GDP
21:00	【南ア】4月財政収支
21:00	【南ア】4月貿易収支
21:30	【米】4月個人所得
21:30	【米】4月個人支出
21:30	【米】4月PCEコア・デフレーター
21:30	【カナダ】1Q GDP
21:30	【カナダ】4月原料価格指数・4月鉱工業製品価格
22:00	【米】5月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:55	【米】5月シカゴ購買部協会景気指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1256.30	-2.60
NY 原油	103.58	+0.86
CME コーン	469.50	-3.00
CBOT 大豆	1499.00	+1.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.38%	0.37%
3年債	0.76%	0.75%
5年債	1.52%	1.48%
7年債	2.01%	2.00%
10年債	2.46%	2.44%
30年債	3.32%	3.29%

### 5/30 主要会議・講演・その他予定

- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.60    ユーロ/円 138.29    ユーロ/ドル 1.3614

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6873.83	+22.61	ダウ INDEX FUTURE	16643	+15
仏 CAC40	4526.32	-5.31	S&P500 FUTURE	1910.40	+1.30
独 DAX	9935.85	-3.32	NASDAQ FUTURE	3719.50	+3.50

(出所:SBILM)

21:30

### 《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 30.0 万件 (予想 31.8 万件・前回 32.6 万件) 前回発表の 32.6 万件から 32.7 万件に修正

失業保険継続受給者数 263.1 万人 (予想 265.0 万人・前回 265.3 万人) 前回発表の 265.3 万人から 264.8 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

### 経済指標データ

#### 《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

日付	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
14/05/24	300,000	-27,000	311,500	*****	*****
14/05/17	327,000	+29,000	322,750	2,631,000	2.0%
14/05/10	298,000	-23,000	323,500	2,648,000	2.0%
14/05/03	321,000	-24,000	325,250	2,666,000	2.0%
14/04/26	345,000	+15,000	320,250	2,676,000	2.0%
14/04/19	330,000	+25,000	317,000	2,761,000	2.1%
14/04/12	305,000	+4,000	312,000	2,674,000	2.0%
14/04/05	301,000	-31,000	316,500	2,741,000	2.1%
14/03/29	332,000	+22,000	321,000	2,750,000	2.1%
14/03/22	310,000	-13,000	319,250	2,838,000	2.2%
14/03/15	323,000	+4,000	329,500	2,814,000	2.1%
14/03/08	319,000	-6,000	331,250	2,869,000	2.2%
14/03/01	325,000	-26,000	337,250	2,850,000	2.2%

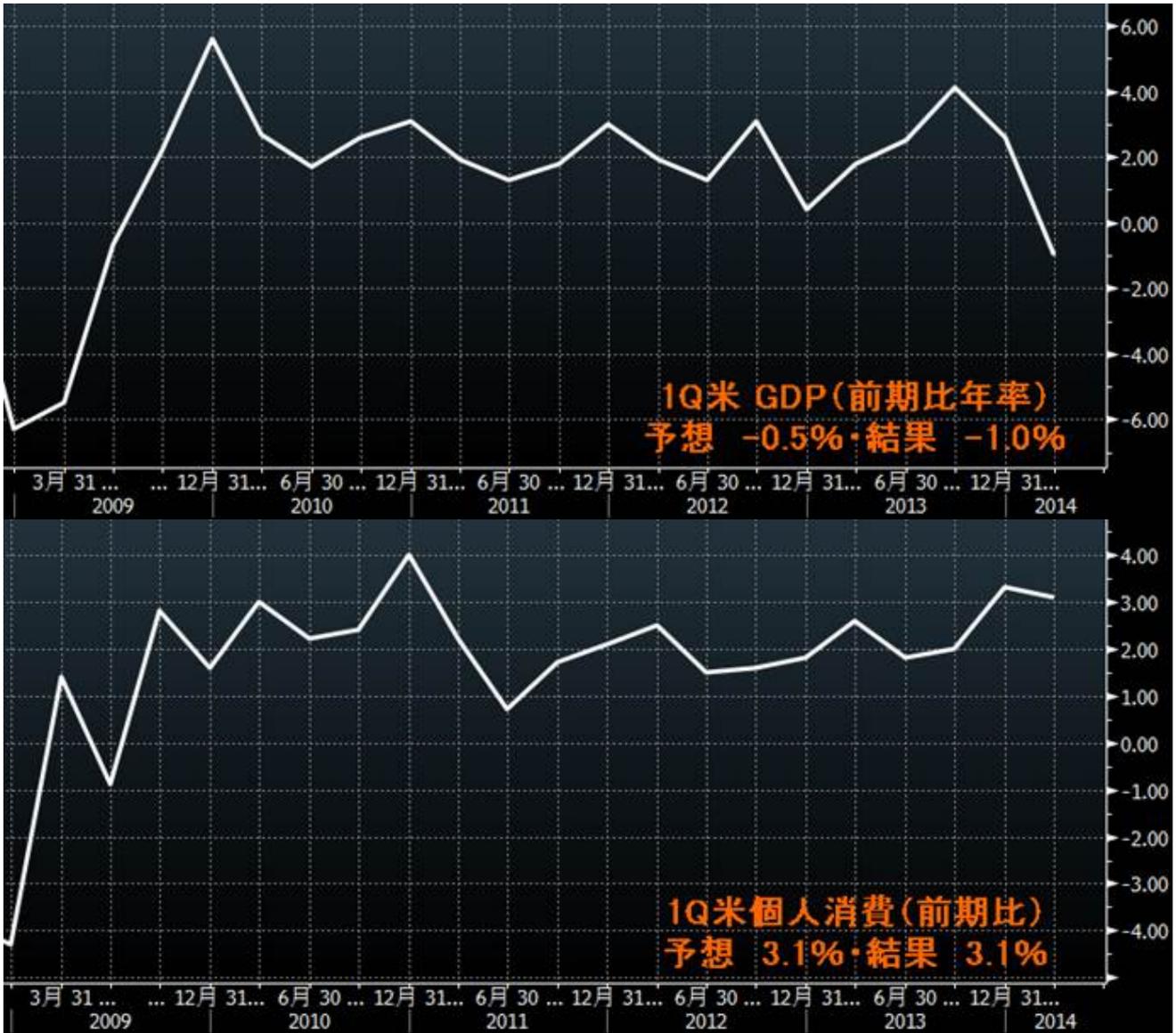
受給者数は集計が1週間遅れる

21 : 30

《 経済指標の結果 》

1Q米 GDP (前期比年率) -1.0% (予想 -0.5%・前回 0.1%)

1Q米個人消費 (前期比) 3.1% (予想 3.1%・前回 3.0%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米 GDP》

	1Q 改定	1Q 速報	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	-1.0	0.1	2.6	4.1	2.5	1.1
個人消費	3.1	3.0	3.3	2.0	1.8	2.3
耐久消費財	1.4	0.8	2.8	7.9	6.2	5.8
非耐久消費財	0.4	0.1	2.9	2.9	1.6	2.7
サービス	4.3	4.4	3.5	0.7	1.2	1.5
政府支出	-0.8	-0.5	-5.2	0.4	-0.4	-4.2
最終需要	0.6	0.7	2.7	2.5	2.1	0.2
国内最終需要	1.6	1.5	1.6	2.3	2.1	0.5

21 : 30

《 経済指標の結果 》

1Q カナダ経常収支 -124 億 CAD(予想 -130 億 CAD・前回 -156 億 CAD) 前回発表の-160 億 CAD から-156 億 CAD に修正



(出所:ブルームバーグ)

### 《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、1-3 月期の米 GDP 改定値がマイナス成長となり、米経済への慎重な見方から円買いが入った。ただ、個人消費や雇用情勢の改善を好感したドル買いも出て、売り買いが交錯する動きとなっている。

22 : 33

### 米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16659.54	+26.36
ナスダック	4240.41	+15.34

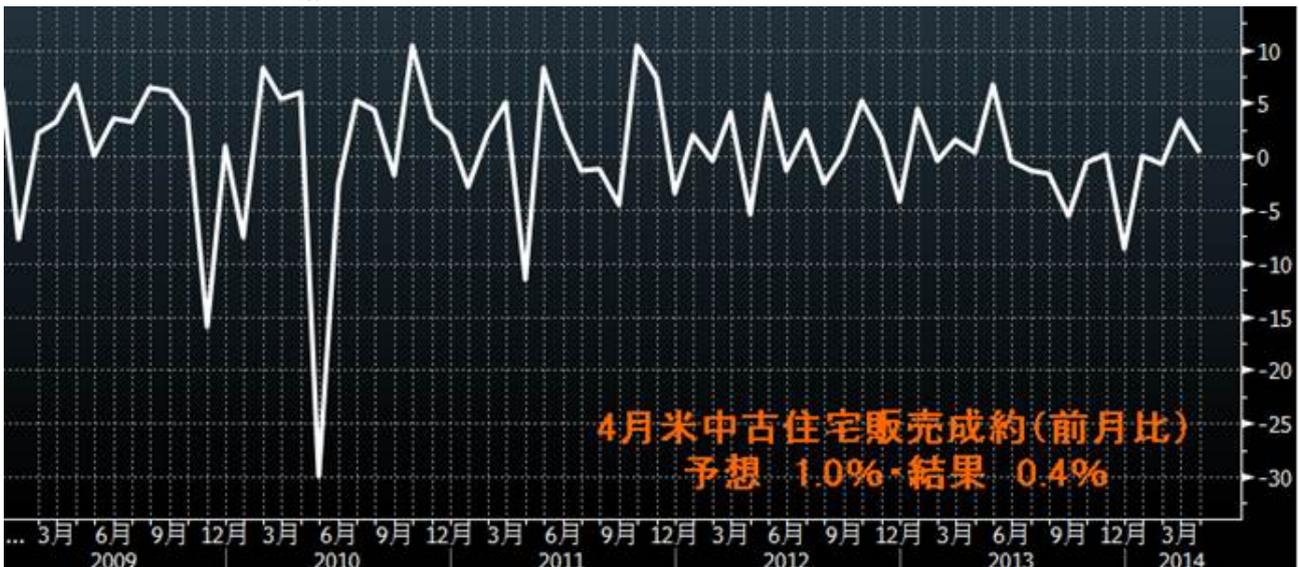
(出所: SBILM)

23 : 00

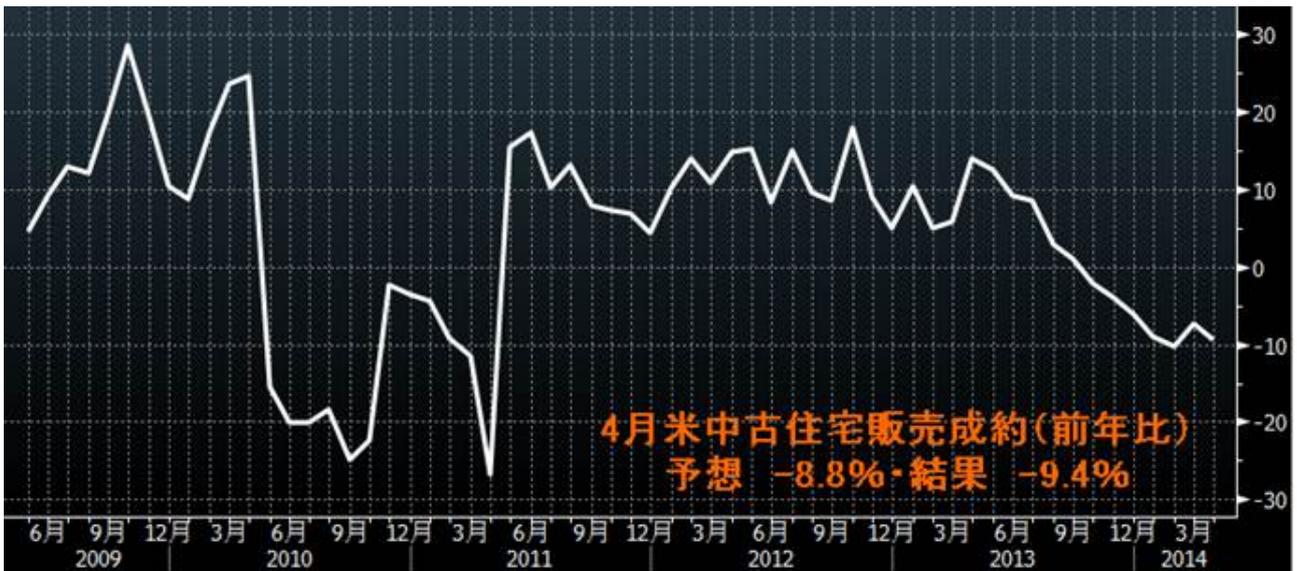
### 《 経済指標の結果 》

4 月米中古住宅販売成約 (前月比) 0.4% (予想 1.0%・前回 3.4%)

4 月米中古住宅販売成約 (前年比) -9.4% (予想 -8.8%・前回 -7.5%) 前回発表の -7.4%から-7.5%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

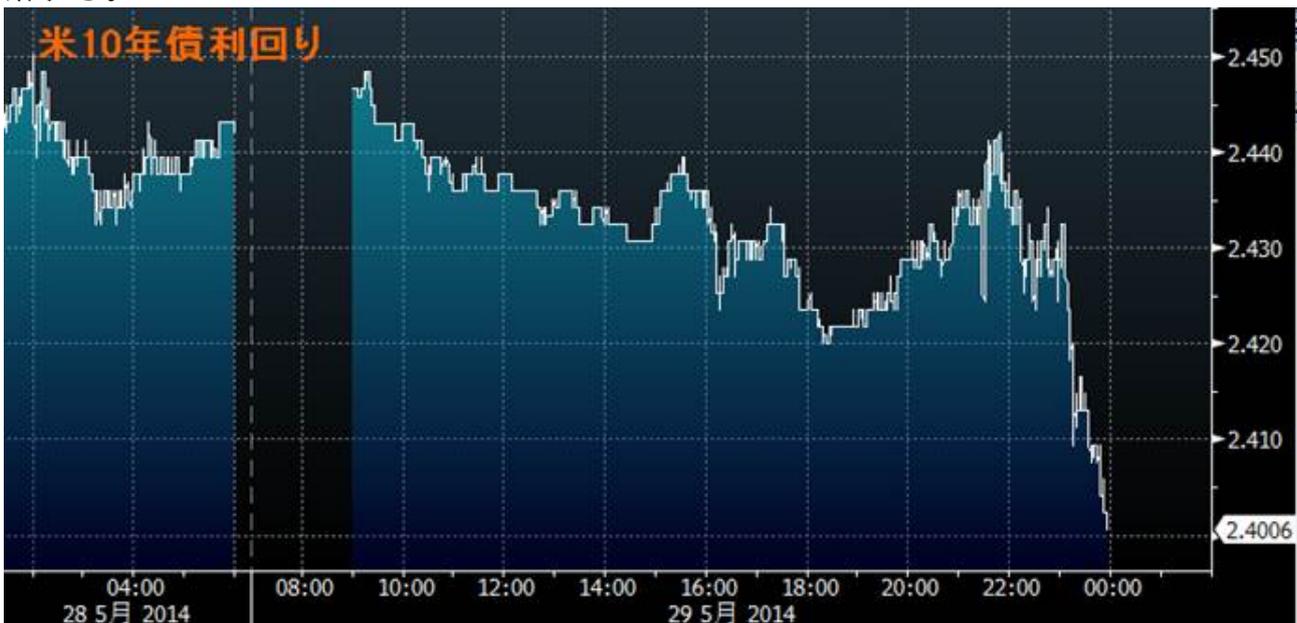
23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

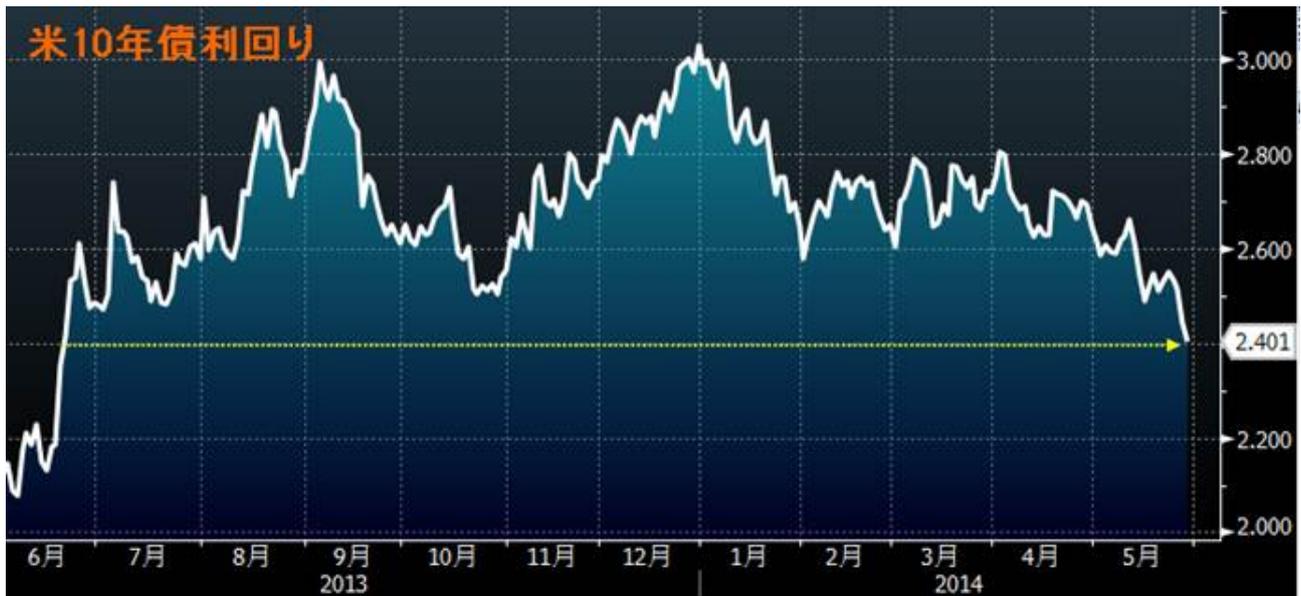
序盤の株式市場は、1-3 月期の米 GDP 改定値がマイナス成長となり、一部銘柄に売りが出た。ただ、マイナス成長は寒波の影響による一時的なもので米経済は回復基調との見方から買いも入った。ダウ平均株価は、序盤から売り買い交錯する動きが優勢となり、やや上値の重い動きが続いている。

0 : 00

米 10 年債利回りが 2.4001 まで低下し、2013 年 6 月 19 日以来の低水準となる。これを受けて、日米金利差縮小観測からドル売り・円買いの動きからドル/円は 101.43 まで下落する。



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

### 《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-2.7万件の30.0万件と、市場予想を下回り、5月10日までの週以来の低水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比-1万1250件の31万1500件と2007年8月11日までの週以来の低水準となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-1.7万人の263.1万人となり、2007年11月17日までの週以来の低水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-3万2500人の265万5250人で、2007年12月8日までの週以来の低水準となった。そして、受給者比率は、前週から横ばいの2.0%となった。

(2) 米1-3月期のGDP改定値は、年率換算で前期比-1.0%と、速報値から1.1ポイント下方修正され、2011年1-3月期以来3年ぶりのマイナス成長となった。小売り関連や製造業をはじめとした企業の在庫投資が下方修正されたほか、輸入が上方修正され成長率の全体水準をマイナスへと押し下げた。繰り返し大雪をもたらした異例の厳冬が経済活動を鈍化させたことなどが背景とみられる。

①GDPの約7割を占める個人消費は+3.1%と速報値から0.1ポイントの上方修正。自動車や家具などの耐久財、非耐久財、サービスともプラスだった。

②設備投資は-1.6%と0.5ポイントの上下修正、生産設備などのインフラに対する投資がマイナスに下方修正されたが、ソフトウェアなど知的財産権関連製品、機器に対する投資が上方修正された。また、住宅投資は-5.0%と上方修正された。

③政府支出は州・地方政府がマイナスとなる一方、連邦政府はプラスだった。FRBが物価安定の指標とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同期比で+1.1%とインフレ目標の2%を下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコアPCE物価指数も+1.1%となった。

④米金融政策を決定するFOMCメンバーはおおむね、経済成長が減速しても一時的で4-6月期には伸びが回復するとの見方で、市場への大量の資金供給を少しずつ減らしているFOMCの量的金融緩和縮小への影響は現時点では小さいとみられる。ただ、今後も経済の減速を示す指標が続けば、修正検討を迫られる可能性もある。

(3)NAR(全米不動産業者協会)が発表した4月の中古住宅販売制約指数は、前月比+0.4%の97.8(2001年=100)となり、2ヵ月連続で上昇した。前年同月比は-9.2%となった。

①地域別では、北東部が+0.6%、中西部は+5.0%、南部は-0.6%、西部は-2.9%となった。

②NARは、在庫率の上昇が購入希望者の選択肢を増やしているほか、住宅ローン金利がやや低下したことで購入が期待されると、住宅販売の緩やかな伸びに期待を示した。

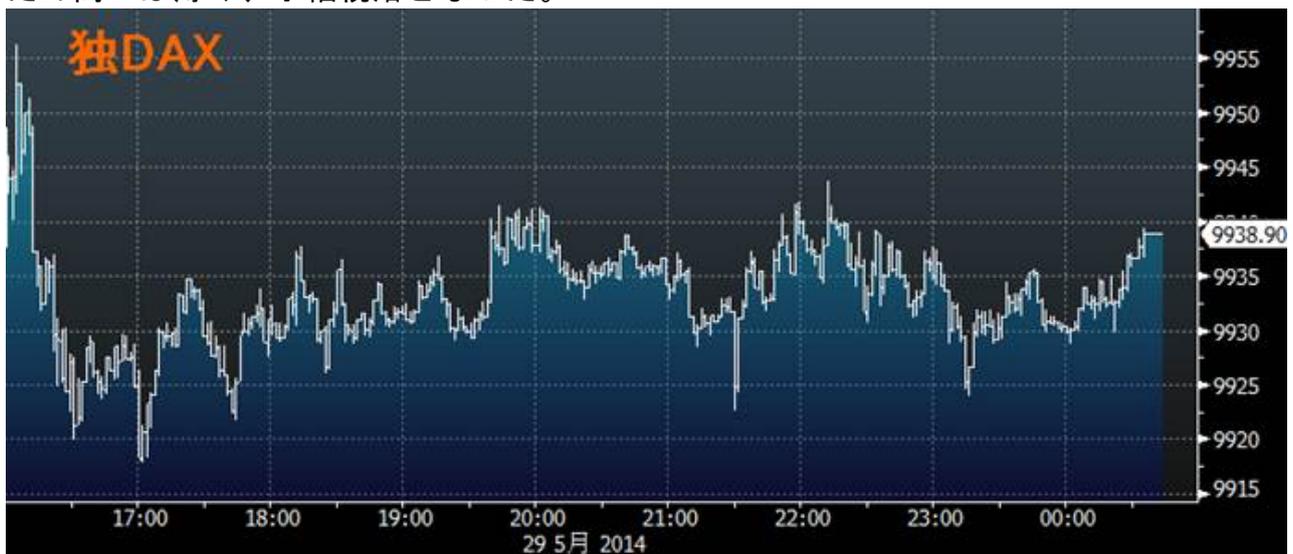
③仮契約は通常1-2ヵ月以内に本契約に移行するため、NARの仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6871.29	+20.07
仏 CAC40	4530.51	-1.12
独 DAX	9938.90	-0.27
ストック欧州 600 指数	344.51	+0.22
ユーロファースト 300 指数	1379.05	+1.22
スペイン IBEX35 指数	10734.80	-22.40
イタリア FTSE MIB 指数	21511.35	-74.66
南ア アフリカ全株指数	49726.64	+36.06

(出所:SBILM)

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、企業のM&A(合併・買収)の動きが活発化すると期待が相場を押し上げたものの、独 DAX はドイツが祝日だったため商いは薄く、小幅続落となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16645.74 (+16.56)、S&P500 1913.89 (+4.11) ナスダック 4236.85 (-11.78)

### 《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー)

- ①米 GDP 改定値が下方修正され、2011年1-3月期以来3年ぶりのマイナス成長となったことを受けてドルが売られる場面もあった。
- ②個人消費や失業保険申請件数が堅調な結果となったこと、米長期債利回りが上昇したことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となる。
- ③米ダウ平均株価がマイナス圏まで下落したことや、米10年債利回りが2.401まで低下し2013年6月19日以来の低水準となったことを受けて、日米金利差縮小が意識され、ドル売り・円買いが優勢となり、ドル/円は101.43まで下落。
- ④米株価、10年債利回りが上昇したことから、ドル円も101.60台まで値を戻す動きとなった。

### 《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、1-3月期の米GDP改定値が3年ぶりにマイナス成長となったことに加え、4月の中古住宅販売仮契約指数が市場予想を下回ったことから米国の超低金利政策が当面継続するとの見方が広がり、米国債の買いが先行した。米長期金利の指標となる10年債利回りは一時2.402%まで低下し、昨年6月下旬以来、約11ヵ月ぶりの低水準となった。

午前の利回りは、30年債が3.27%（前日3.29%）、10年債が2.40%（2.44%）、7年債が1.95%（2.00%）、5年債が1.47%（1.48%）、3年債が0.72%（0.75%）、2年債が0.36%（0.37%）。

### 《欧州のポイント》

- ①スペイン統計局が発表した第1・四半期のGDP伸び率は、前期比+0.4%となり、速報値と一致した。内需の回復に支援され、3四半期連続のプラス成長を達成した。第1・四半期のGDP伸び率は前年同期比では0.5%で、速報の0.6%から下方修正。昨年第4・四半期は-0.2%だった。IMF（国際通貨基金）は、今週、スペイン経済は危機を脱したとの見方を示している。
- ②英中銀によると、融資促進のための資金調達スキームに参加する銀行と住宅金融組合による法人向け融資は、第1・四半期にネットで27億ポンド減少した。ロイズ・バンキング・グループの法人向け融資の純減額が最大だった。資金調達スキームは、企業への融資を促進するため、金融機関に低金利で資金を提供するプログラム。昨年導入以来、金融機関は資金調達スキームで433億ポンド（723億ドル）の資金を調達している。
- ③イタリアの2大銀行、インテサ・サンパオロとウニクレディトの首脳は、ECBが次回の理事会で利下げを行うほか、別の景気支援策も打ち出すとの見通しを示した。会合の間、記者団に述べた。ウニクレディトのCEOは、ECBが利下げし、資産買い入れプログラムを開始すると予想していると語った。インテサのCEOは、貸し出しを行うことを条件に銀行に資金供給する制度を立ち上げることを望むと述べた。一方、イタリア主要経営者団体のイタリア産業総連盟の代表は年次総会で、リセッションやデフレを回避するため、ECBは介入すべきとの見方を示した。

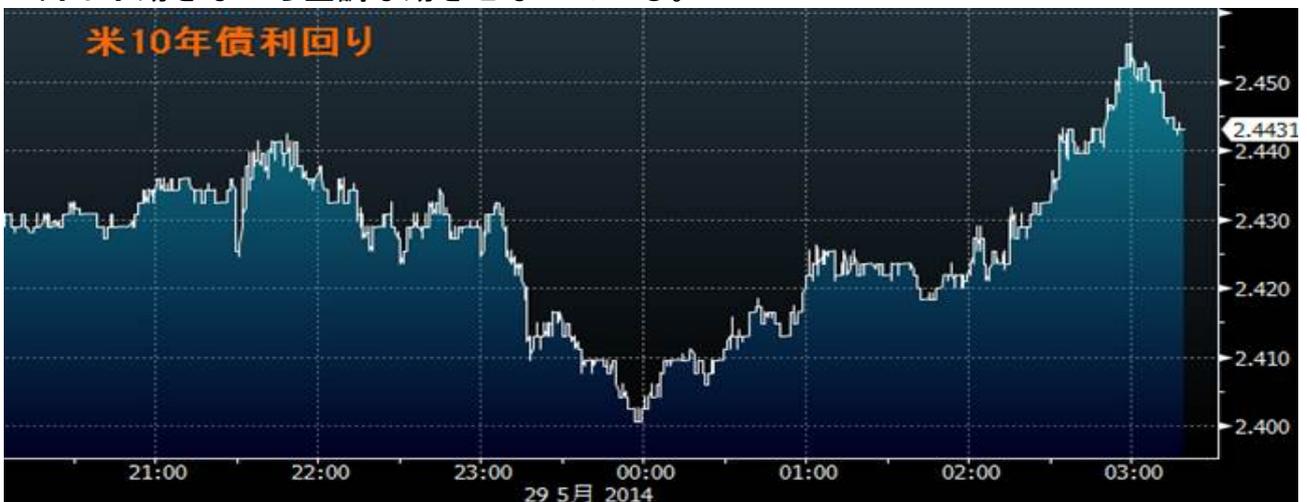
2:00

### 《米財務省7年債入札》

最高落札利回り・・・2.010%（前回 2.317%）  
 最低落札利回り・・・1.900%（前回 2.210%）  
 最高利回り落札比率・・・73.86%（前回 47.26%）  
 応札倍率・・・2.60倍（前回 2.60倍）

3:30

午後に入り、取引材料に乏しい中、米10年債利回りが2.401%から2.452%まで上昇したことを受けて、日米金利差拡大を背景にドル買い・円売り優勢となり、ドル円・クロス円は小動きながら堅調な動きとなっている。



(出所:ブルームバーグ)

3 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 2.60 ドル安の 1 オンス=1256.30 ドルで取引を終了した。

4 : 10

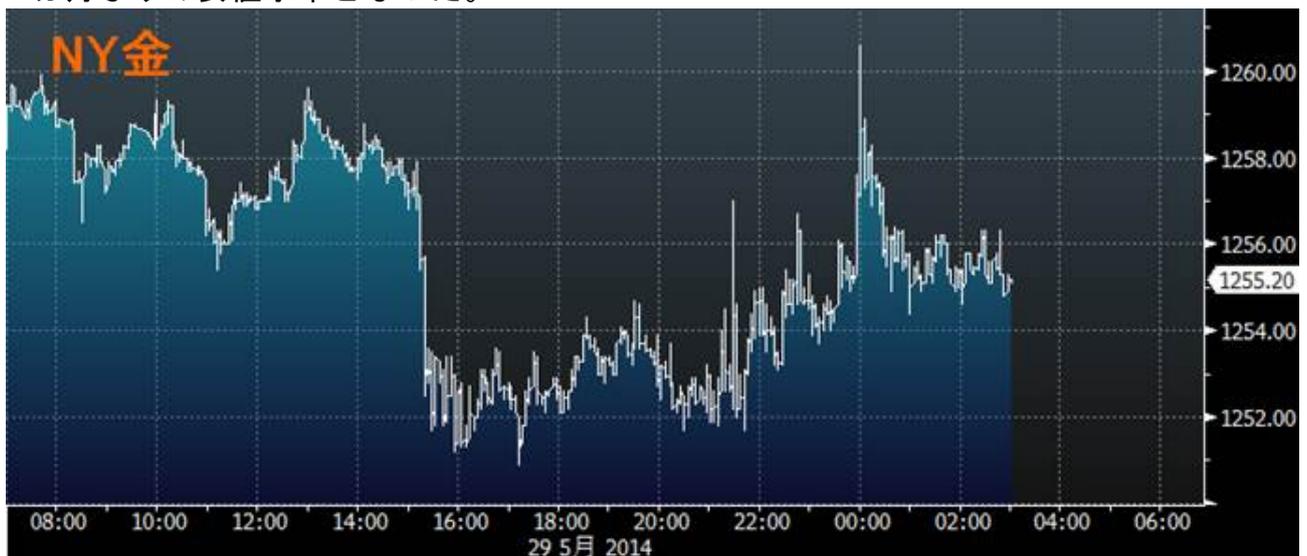
NY 原油は、中心限月が前日比 0.86 ドル高の 1 バレル=103.58 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1256.30	-2.60
NY 原油	103.58	+0.86

(出所:SBILM)

### 《 NY 金市場 》

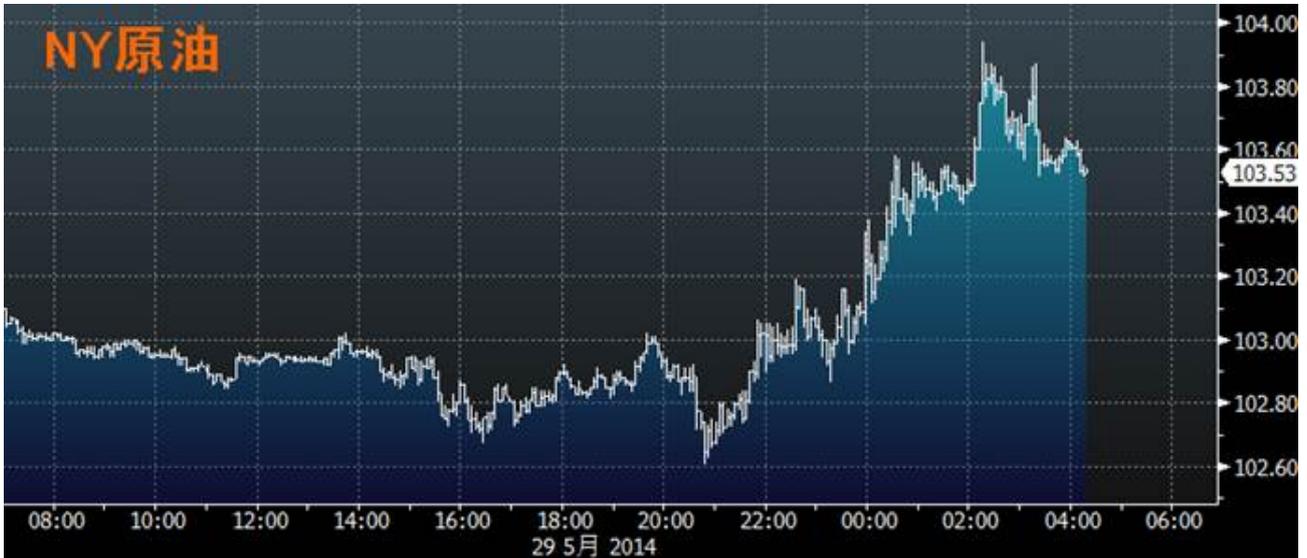
NY 金は、米失業保険申請件数が市場の予想以上に減ったことが材料視され、比較的安  
 全な資産とされる金を売る動きが続いた。一方、1-3 月期の米 GDP がマイナス成長だっ  
 たため買いも入り、相場の下げ幅は限定的だった。終値ベースでは、2 月上旬以来、約  
 4 カ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油統計で、WTI 原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの原油在庫が減少したほか、ガソリン在庫も市場予想に反して減ったことが好感され、買いが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16698.74	+65.56	16698.74	16620.43
S&P500 種	1920.03	+10.25	1920.03	1909.82
ナスダック	4247.95	+22.87	4247.95	4228.96

(出所:SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、1-3 月期の米 GDP 改定値がマイナス成長となり、一部銘柄に売りが出た。ただ、マイナス成長は寒波の影響による一時的なもので米経済は回復基調との見方から買いも入った。ダウ平均株価は、序盤から売り買い交錯する動きが優勢となり、やや上値の重い動きが続いた。一時マイナス圏まで下落する場面もあったが、終盤には前日比 65 ドル高まで上昇する動きとなった。



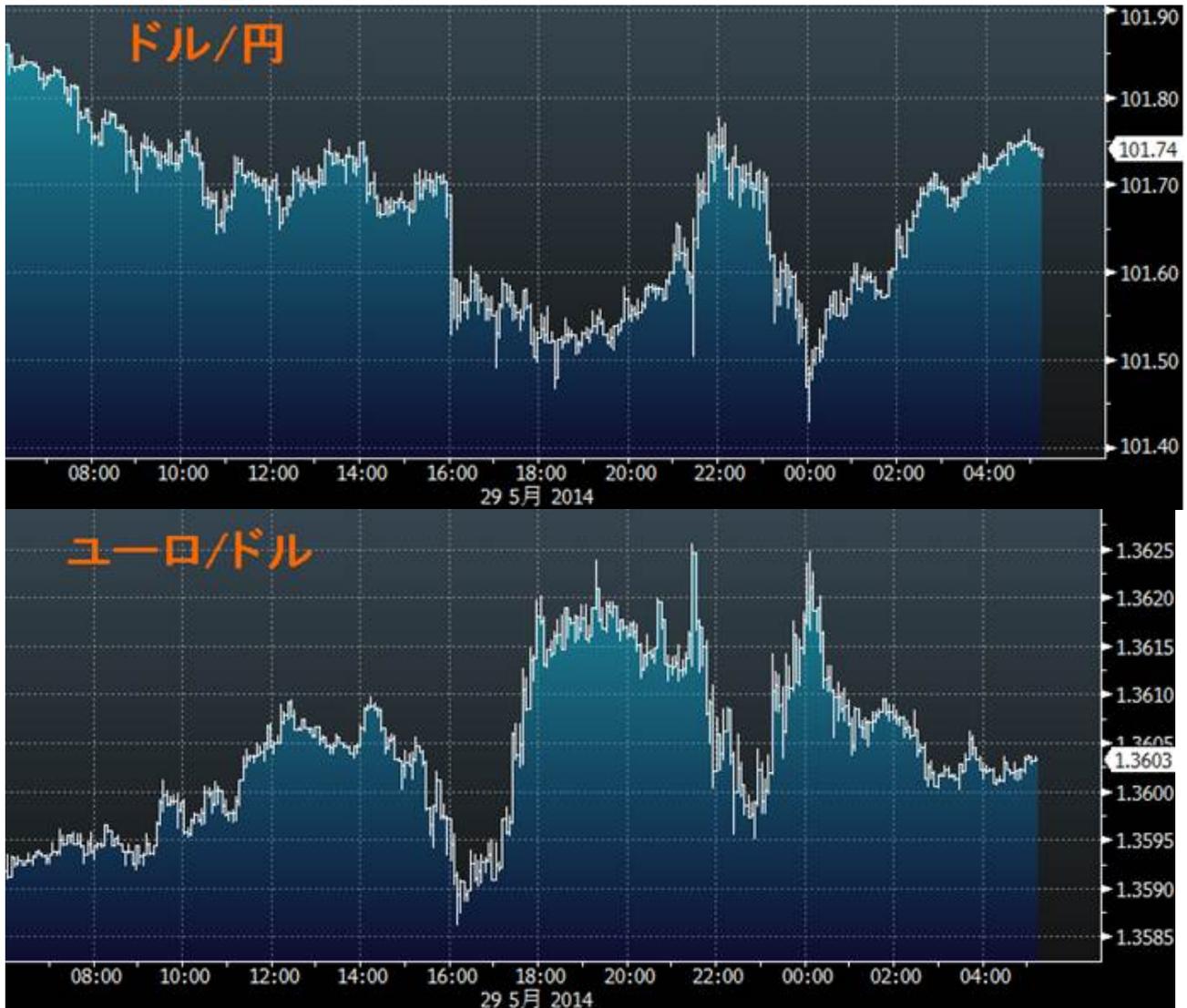
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.77	101.78	101.43
EUR/JPY	138.46	138.52	138.13
GBP/JPY	170.14	170.15	169.61
AUD/JPY	94.71	94.71	94.25
NZD/JPY	86.36	86.36	85.86
EUR/USD	1.3606	1.3626	1.3595
AUD/USD	0.9306	0.9308	0.9275

(出所:SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、米 GDP が予想以上に悪化したことから、ドルは一時軟調な動きも見られたが、個人消費や雇用関連の経済指標が堅調となったことを受けて、小動きながら上昇となり、クロス円も堅調な動きとなった。その後は、米長期金利が低下したことからドル売り・円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなったものの、午後には株価や金利が上昇したことから、円が主要通貨に対して軟調な動きとなり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにものご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。